

東京科学大学歯科東京同窓会
令和8年度 第1回 学術講演会

歯科東京同窓会
会員限定



講師

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科
歯周病学分野 講師

芝 多佳彦 先生

新規フローチャートに基づく インプラント周囲炎の 治療戦略

～歯周炎併発口腔内への統合的アプローチ
とバイオフィルムの可視化～

◎日時：令和8年5月13日(水) 19:30～21:00

◎会場：東京科学大学 湯島キャンパス 1号館9階 特別講堂

〈講演抄録〉

インプラント治療は機能的・審美的に優れ、歯の喪失に対する有効な治療法として広く用いられている。しかし、プラークによる細菌学的要因に加え、不適切な埋入ポジションなどの外科的要因や過重負担などの補綴的要因による合併症が生じることがあり、長期予後に影響を及ぼす場合がある。特にプラーク由来の合併症はインプラント周囲粘膜炎およびインプラント周囲炎に分類され、歯肉炎や歯周炎と類似した臨床像を示す。インプラント周囲疾患の治療指針としては、依然としてPPDを初期診断項目とする累積的防御療法(CIST)が広く用いられている。しかしながら、近年のインプラント形態の変化によりPPDの診断的意義には一定の限界が指摘されており、BOPを含めた他の臨床指標の重要性も報告されている。そこで今回、BOP、角化粘膜の状態、骨欠損形態などを考慮した私たちが考えたフローチャートをもとにした治療の考え方、歯周炎とインプラント周囲炎を併発する症例への対応、また新しい技術を用いたバイオフィルム可視化による汚染インプラントの除染についてもご紹介させていただきます。

治療フローチャート参考文献：Shiba T et al. Bioengineering (Basel). 2024 11(2):118.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/38391604/>

〈講師略歴〉

【略歴】

2009年 昭和大学歯学部 卒業
2010年 日本歯科大学附属病院 臨床研修歯科医 修了
2017年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 修了
東京医科歯科大学 歯学部附属病院 医員
2018年 東京医科歯科大学 歯学部附属病院 特任助教
2020年 北京大学口腔医学院 (ITI スカラー) 修了
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 助教
2022年 ハーバード大学口腔内科・感染・免疫学分野 客員助教
2024年 東京科学大学病院 助教
2025年 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 講師

【所属学会】

●日本歯周病学会	専門医・評議員
●日本歯科保存学会	認定医
●日本口腔インプラント学会	会員・代議員
●日本臨床歯周病学会	会員
●日本口腔インプラント学会	会員
●日本顎顔面インプラント学会	会員
●日本レーザー歯学会	会員

■ご参加希望の先生は、右記QRコードよりお申し込みください。

(参加費無料 定員80名 申込先着順)

申込締切 5/8



入力いただいたメールアドレスに受講確認メールが届きます。
当日はそのメールを提示してください。

〒113-8510 文京区湯島1-5-45 東京科学大学歯科東京同窓会 会長 長井博昭
TEL&FAX 03 (3815) 1851 E-mail: tokyo-info@ikashika-dent.com